

団体名	特定非営利活動法人 NPO-MASUDA
テーマ名	フリーテーマ
事業名	けやき学園、タケノコ学園 講座
事業費(うち助成金額)	300,000
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



■事業目的 (250文字程度)

全国的に高齢化が進んでいる状況の中で医療・介護はもちろん喫緊の課題だが、高齢者自身にもできることがあると思い、大人の寺子屋「けやき学園」事業を2019年度から開始した。今盛んに言われているフレイル予防のためには、元気な高齢者が元気を維持することが大切で、行政や家族の負担を減らす効果もあると思う。家に引きこもらず、外出して脳に様々な刺激を受けることが身体能力の活性化につながる。「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」をテーマに、講座への参加を多くの高齢者へ呼びかけている。

■事業内容 (350字程度)

受講生の固定化とそれによる排他化は避けたいと思い、単発で多様な講座を用意している。好評だった講座については受講者の要望を受けて翌年も実施している。「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」の趣旨に沿ったテーマで講座提供をするために、プログラム構成に工夫を重ねている。当団体の初期の目的である「ふるさとの宝物を発掘して広く発信していく」は継続して行っており、今年度の公開講座もその一環である。秦佐八郎博士の顕彰活動も継続して行っており、近年は加えて米原恭庵先生、右田朝子先生と合わせて顕彰している。コロナ禍で市外から講師を招聘することが困難となり、以来地元で講師を発掘して依頼しているが多様な講師と出会いがあり、喜んでいる。

■事業成果と今後の展望 (450字程度)

2019年度から事業を開始してコロナ感染症の影響を少なからず受けたが、地道に活動を続けてきて次第に受講者数は増加している。2022年度に益田市叙勲者会から助成金を受けたがその際市民への還元を求められ、受講料を半額の500円とした。結果助成金は単年度であったが受講料を元の千円へ戻すことは断念したため、受講料収入は半減した。ただし受講料が安くなって受講しやすくなった面はあり、わずかではあるが受講者数は増えている。うれしいことではあるが財政的にはたいへん厳しい状況である。事業開始時から、毎年度7月～翌年2月毎月2回の講座を設けてきたが来年度からは毎月1回へ回数減らして内容を充実させることを検討している。

けやき学園の健康マージャン教室受講者から要望があり健康マージャン愛好家クラブが2019年末誕生し、現在も毎週1回益田市民学習センターで行われている。8名程度で始まったが現在は20名を超えている。3分の2が女性でそのほとんどは全くの初心者から始めて現在大いに楽しんでいる。